

# 指定管理者制度導入施設の将来ビジョン

施設名	おおいた動物愛護センター ドッグラン及び多目的広場
所在地	大分市大字廻栖野3231番地47
県の所管部局(課・室)	生活環境部 食品・生活衛生課
設置年月日	平成31年2月17日(設置から5年1か月)※令和6年4月1日現在
設置目的	動物の愛護及び適正な飼養に関する普及啓発を図るとともに、人と動物が交流できる場を提供し、もって人と動物が共生する社会づくりに資する。
指定管理期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

## 【検討結果】

### 施設の今後のあり方

	存続 (利活用)	存続 (整理統合)	廃止
理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>人と動物が共生できる社会の推進のため、地域との連携や協働を図りながら、動物愛護の普及啓発に取り組む。</li> <li>貸し切り可能な専用利用ゾーンなど、同様施設の中でも県内有数の設備を有する。</li> </ul>		
管理方法の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者の有するノウハウを活用し、利用者サービスの向上と経費の節減に貢献している。</li> <li>利用頭数の多い土日、祝日は2名、少ない平日は1名とするなど人員配置を適切に行っており、効率的な管理運営に務め、経費の効率化を図っている。</li> </ul>		

### ビジョンの設定期間

ビジョンの設定期間	令和5年度～令和14年度
次回策定	令和14年度
中間見直し	令和6年度
次回指定管理者公募予定	令和7年度

## 存続の場合

### 1. 目指すべき施設像及び利用者像等

施設像	<ul style="list-style-type: none"> <li>来場者や犬同士が交流するきっかけの場となる施設</li> <li>動物愛護の普及啓発を推進する上で拠点となる施設</li> </ul>		
利用者像	<ul style="list-style-type: none"> <li>犬を飼育する全ての人</li> <li>動物愛護団体や、動物愛護のイベントに参加する方など</li> </ul>		
定量的 目標達成指標	①	年間利用頭数の増加	令和6年度:13,230頭/年 令和9年度:13,920頭/年 令和12年度:14,610頭/年 令和7年度:13,460頭/年 令和10年度:14,150頭/年 令和13年度:14,840頭/年 令和8年度:13,690頭/年 令和11年度:14,380頭/年 令和14年度:15,000頭/年
	②	イベント開催回数	5回/年
定性的 目標達成指標	①	利用者拡大のため、平日の利用率向上が見込める年代への広報活動を充実させる。	
	②	利用者満足度向上のため、季節や天候にとらわれず利用しやすい環境整備を行う。	

## 2. 目指すべき像を達成するための課題とその解決策、実施方法・実施時期（解決への優先順に記載）

課題1	人口減少・少子高齢化に関する課題（必須）
少子化の中にあっても、子育て世帯での動物の飼育を検討する家庭は一定割合ある。また、高齢者世帯での動物の飼育を希望する家庭もあるため、ドッグラン利用者は一定数を確保できると思われるが、利用者の分析ができていないため、利用者拡大に向けた効果的な広報活動ができていない。	
解決策	アンケート調査を行う際、利用者の年代や利用時間も項目に入れる。
実施方法・実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度においてアンケート調査を実施する。</li> <li>アンケート結果を分析し、利用頻度の高い年代、低い年代、時間帯などを分析し、広報活動を行う。</li> </ul>

（参考）	令和3年度(2021年度)	令和12年度(2030年度)	令和27年度(2045年度)
予測利用頭数(頭)	11,723	頭数予測困難	頭数予測困難
直近年度比			

課題2	施設管理に関する課題（必須）
屋外施設のため、季節や天候の影響を受けやすく、夏場の利用率が低いことや利用者アンケートからも暑熱対策が必要。	
解決策	植樹、固定式屋根の増設などの暑熱対策
実施方法・実施時期	計画的に予算を確保し、順次、植樹や固定式屋根の増設などを行っていく。